

2017 年 5 月 8 日

本社 大口製作所のスマート化を完了 「Mazak iSMART Factory」として稼働開始

ヤマザキマザック株式会社(社長:山崎智久、本社:愛知県大口町、以下 マザック)は、最新のIoT・自動化技術を活用して、本社工場である大口製作所をスマート・ファクトリー化し、「Mazak iSMART Factory[®]」として稼働を開始させました。

マザックは、1980 年代よりフレキシブル生産システムを応用した無人化工場に取り組み、1998 年には IT を活用して工場内をネットワーク化する「サイバーファクトリー」を完成させるなど、工場の自動化・ネットワーク化を早くから推進してきました。

「Mazak iSMART Factory[®]」は、従来の「サイバーファクトリー」のコンセプトをさらに昇華させ、最新のIoT 技術を活用して工場内のすべての生産活動をデジタルデータ化し、可視化・分析による改善や、基幹システムとのデータ連携、AI 技術の応用などによって、生産の自律的な最適化を行う「高度なデジタル製造の実現」を目指しています。

今回、「Mazak iSMART Factory[®]」化が完了した大口製作所では、自社製・他社製を問わず、すべての設備機械や周辺装置を、製造業向けオープン通信規格「MTConnect」を採用したネットワーク接続装置「MAZAK SMARTBOX[™]」を経由して安全に接続しネットワーク化しています。また、人の作業情報もタブレット端末等の IT 機器を用いてデジタルデータ化することで、工場全体の生産活動の可視化や製造ビッグデータの収集をおこなっています。可視化による気づきやデータ分析を現場にフィードバックすることで、生産性や品質の向上・改善を行い、さらに ERP(統合基幹システム)と連携することで、高度なトレーサビリティや工場運営全体の最適化を実現しています。

「Mazak iSMART Factory[®]」は今後、大口製作所に続いて国内外のすべての自社工場に展開され、常にその時点の最先端技術を取り入れ進化を続けていきます。

マザックは、「Mazak iSMART Factory[®]」を通じて、自社での「高度なデジタル製造の実現」だけでなく、お客様に対しての「新しい価値の創出・提供」を行っていきます。昨年より販売を開始している安全・確実に工場内をネットワーク化する「MAZAK SMARTBOX[™]」や可視化ソフトウェア「Smooth Monitor」、先日発表した複合加工機の自動化システムと自動倉庫システムを融合したスマート生産システム「MAZATEC SMS」などのような、新たな製品やサービス・ソリューションを自社の「Mazak iSMART Factory[®]」で実証し、お客様へ提供していきます。

お問合せ先 : ヤマザキマザック株式会社 経営企画室 広報

TEL:0587-95-6849 www.mazak.jp

掲載されているプレスリリース内容は、報道関係者へ発表した情報の要約です。

ご覧の時点で予告無く情報変更が行われている場合がありますので、あらかじめご了承ください